

# 領 収 証

2020年01月20日  
(200127-CB0001)

勝見 英一朗 様

|    |            |
|----|------------|
| 金額 | ¥ 27,600 ※ |
|----|------------|

但し 2020/1/27~1/28 交通費+宿泊費として  
【クレジットカードご利用】

上記の金額正に領収いたしました。

Ref.No. 0000042294 予約No. 101148

## 御注意

1. 手書きのもの並びに金額を訂正したものは無効とします。
2. 社用印、担当者印なきものは無効とします。

観光庁長官登録旅行業 第1528号  
山交観光株式会社  
長井案内所  
〒993-0008  
山形県長井市東町  
4-1-1

TEL:0238-84-1820

FAX:0238-84-1105



3月 48,377円分を計上

No. 3860

# 領 収 証

コードNo. 001114

かつみ 英一朗 様

収入印紙

|      |   |        |   |
|------|---|--------|---|
| 領収金額 | 百 | 千      | 円 |
|      | ¥ | 50,600 |   |

|     |     |   |
|-----|-----|---|
| 請求額 |     |   |
| 内訳  | 現金  | ✓ |
|     | 小切手 |   |
|     | 手形  |   |
|     | 相殺  |   |
|     | 振込  |   |
|     | 値引  |   |

但し 印刷代として (円:消費税4,600)

上記の金額正に領収致しました

R2年 3月 31日

株式会社 サンノー企画印刷

ADDRESS : 〒993-0035 山形県長井市時崎1867-3

TEL : 0238-88-5208 FAX : 0238-88-3855

扱  
者  
印



金額訂正及び社印取扱者印  
無きものは無効です

領 収 証

勝見 英一朗 様

No. \_\_\_\_\_

金額

¥34,023-

|          |   |
|----------|---|
| 内 訳      |   |
| 現金       |   |
| 小切手      | / |
| 手形       | / |
| 消費税額等(%) |   |

但 朝日新聞 2019年5月 ~ 2020年3月分

収入印紙

2020年3月24日 上記正に領収いたしました

山形県長井市東町8-31  
 ASA 長井・白鷹  
 宿澤新聞店  
 代表者 宿澤 勝敏  
 TEL 0238-88-2259  
 FAX 0238-88-5344

コクヨ ウケ-92

領 収 証

勝見 英一朗

様

No. \_\_\_\_\_

★ ¥37,400

但 2019年5月 ~ 2020年3月分

2020年3月23日 上記正に領収いたしました

|    |    |          |
|----|----|----------|
| 内訳 | 税率 | 金額(税抜税込) |
|    | %  | 消費税額等    |
|    | 税率 | 金額(税抜税込) |
|    | %  | 消費税額等    |

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

読売センター長井  
 所長 内山繁美  
 〒993-0085 山形県長井市高野町1-2-2  
 TEL0238(88)2337 FAX0238(88)5999

## 行政視察結果報告書（政務活動費）

|  |                                 |        |
|--|---------------------------------|--------|
| 視察月日   | 令和2年1月27日（月）～1月28日（火）           |        |
| 視察<br>項目   | 1. 武蔵野市立武蔵野プレイスにおける複合施設運営実態について | （武蔵野市） |
|  | 2. 稲城市における防災体制構築と観光振興事業について     | （稲城市）  |
| <p>1. 武蔵野市立武蔵野プレイスにおける複合施設運営実態について</p> <p>武蔵野市は人口約14万6千人。市民の所得額は1人当たり536万6千円と高く、生涯学習に対する意欲は高い。同市には3駅あり、駅勢圏ごとに公共施設が整備され、市役所機能も市政センターが3つ置かれる。武蔵野プレイスは、図書館としては分館にあたるが、年間貸し出し件数は111万件以上と多い。奉仕人口1人当たりの貸出冊数は約17冊（全国平均は5冊）で市内では一番多い。平日5,600人、土日7,000人、年間192万人が利用するように魅力ある施設である。利用者の年齢層は幅広く、まんべんなく利用されている。市外の利用者も多い。これは、東京は面積が狭く交通機関があるので相互利用されやすいという利点にもよる。貸会議室の利用はさほど多くないというが、目標は稼働率90%と高い。プレイスには4つの機能（図書館、青少年活動支援、生涯学習支援、市民活動支援）があり、たとえば青少年活動支援では、ダンスや演劇練習などができる“パフォーマンススタジオ”、音楽バンド練習用の“サウンドスタジオ”、軽運動のための“オープンスタジオ”、そして、勉強や読書のための“スタジオラウンジ”を備えた「青少年フロア」を地下2階に設けるなど、その機能が十分に発揮できるよう設計されている。一方、4つの機能を分離しない工夫もある。1つのフロアに2つの機能を配置し、図書館と生涯学習のように機能が近いものを近接させて、図書館に来たら市民活動に関するコーナーにも立ち寄ってもらえるような工夫をこらす。プレイスでは、これを「社会機能施設」と自認しているが、公共施設として大事な観点と思う。掲示物にもルールがあり“ヒラギノ書体”に統一している。職員がパソコンで掲示物を作ると様々な書体で書かれるため統一感がなくなってしまうのだが、それを避けるためという。細部にわたり設計意図が統一されている。指定管理者は公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団。事業団ができてから20年という。運営経費は年間5億4,500万円。市の財政が豊かで市の外郭団体も多く、非公募で外郭団体から同事業団に委託された。指定管理というのが実際は市の直営に近い。前述したが市外利用者も多い。在住・在勤・在学者および隣接市の市民は武蔵野市民扱い。施設内の食べる場所は限定されるが飲み物は蓋つきならどこでもOK。現在多くの公共施設が持つ気軽さがある。地上4階、地下2階に配された図書と閲覧スペース、カフェ、会議室、館前の広場など、非常に完成度の高い複合施設である。総体として長井市の複合施設と比肩できるものではないが、施設の機能を生かそうとする設計思想や細部の工夫は大いに参考とすべきである。</p> <p>2. 稲城市における防災体制構築と観光振興事業について</p> <p>稲城市の防災と観光に関し説明を受けた。同市は4Km四方の広さだが6駅あり交通利便性は高い。人口は9万1千人。高齢化率は21.2%と低い。市の特徴の一つに「災害に強いまちづくり」がある。昨年の台風19号では、直接の大きな被害はなかったが、貨物線は2週間ストップ、多摩川溢水の恐れがあり3千人以上が避難した。市内には中学校区単位に49の自主防災組織がある。組織率は98%と非常に</p> |                                 |        |

高い。避難訓練と避難所設営訓練、水の確保講習会などを行い、女性の視点も入れる。要支援者名簿を持っているのは11組織。課題は、役員が交代するため引き継ぎが困難なこと。半面、多くの人に携わってもらえる利点はあると言う。同市策定の「避難所設営・運営マニュアル」は詳細である。マニュアルを作成することとなったきっかけは東日本大震災。首都直下型地震を想定し、女性や弱者視点のマニュアルを作った。避難所設営は、行政が主導するより自主防災組織による方がスムーズに行われる。運営はできるだけ自主防災組織に任せたいと言う。主な避難所である学校は、児童生徒の安全確保が優先となるため、避難者を教室に入れることに抵抗感があつたことから“避難所運営関係者会議”を設置した。運営では、この関係者会議の意見を重視。中学生・高校生も避難者受け入れ訓練を行う。学校では、避難所となった際、入ってよい教室と入っていけない教室を明示する。また、マニュアルは、行政が作ると活字が多くなるので、自主防災組織の意見を入れて分かりやすいものにした。半年ごとにバージョンアップする。防災マップはブック形式で、マップだけでなく避難所行動計画、避難所ルールなどを入れている。自助・共助を強調。「避難所はあるが、自分のことは自分でやってください」ということも明示。そのことにより、自主防災組織の意識も変化し、避難所は、備蓄食料と医療支援、行政との連絡ポイントであることが分かってきたという。長井市においても、もちろん行政の役割は大きいのだが、それと同時に避難所の役割と自助・共助の基本姿勢は明らかにしておくことは大切であろう。

観光に関しては、同市は定住型の都市を目指し観光に力を入れ始めたという。観光発信基地として観光案内所ペアテラスをつくり、H30年5月に観光協会ができた。キャラクターは“稲城なしのすけ”。既存の観光資源に磨きをかける“ニューツーリズム”をめざす。集客装置は3つの城とよみうり系レジャー施設など。観光ウオークツアーは有償ボランティアが案内する。新しいトレンドは「自転車」。サイクリストの聖地に成長。2020年オリンピックの自転車ロードレースでは同市を走行することになっている。シェアサイクルのステーションを20か所設置し回遊性を高める。ソフトバンクの「ハローサイクル」を利用。南多摩3市の観光連携事業、京王沿線5市観光連携、南武線沿線シティプロモーション推進協議会など広域観光連携が進む。産業観光、街道観光、都市観光、グリーンツーリズム、医療観光、インフラツーリズムを“ニューツーリズム”として一体的に捉える観光の考え方は本市も参考にすべきである。

以上のとおり報告します。

令和2年3月26日

長井市議会議員

勝見 英一朗



長井市議会議長 平 進介 様